

令和 7 年度（福）ふじみ野福祉会 事業報告

令和 7 年度、法人事務局においては、4 回の理事会、3 回の評議員会を開催し様々な議案を審議しました。運営面で大きな課題であった特養の稼働率については、新規入所者の獲得に努め、年度末には 95.9%まで回復することができました。また、法人として初めて特定技能実習生の受け入れを開始し、8 月に 4 名の職員が入職しています。

年度中に法人内の部署と責任者の配置の見直しを行い、デイサービスを単独でデイサービス課として新たに設置するとともに、むさしの・ひだまりの庭それぞれの居宅支援事業所と地域包括支援センターを地域課として一つの部署に変更しました。

管理課においては、人材採用に力を入れ、復職支援（アルムナイ）制度の導入や、特定技能実習生の生活のフォローを行ないました。

生活課においては、オンライン研修の導入や既存の会議の中身を充実させることに重きを置き実施しました。

地域課においては、両拠点の居宅介護支援事業所で新規利用者の受け入れを強化し、目標の稼働率を超える実績を達成しました。むさしの包括では、相談についての迅速な対応を心掛けて業務を行いました。普段の講座や地域行事の中で接する方々に気楽に声をかけてもらえるよう心掛け、周知活動を行いました。ひだまり包括は十分な職員体制が整わない中でも、担当圏域の利用者に影響がないよう職員同士連携し、相談業務に当たりました。

デイサービス課では利用者の顧客満足度を上げるための取り組みにより、稼働率の向上を達成しました。

地域支援課の小規模多機能においては、一人ひとりの望む暮らしに合わせたケアプランを作成し、気持ちに寄り添い、かつ柔軟なサービスを提供しました。地域密着型特養では、会議等の開催の見直しにより、超勤時間が全体的に減らすことができました。また、ユニット単位での会議を設け、職員同士でのコミュニケーションの場を設けることが出来ました。

栄養課においては、利用者の食生活が豊かであるように努め、月 2 回の行事食を実施しました。また、地域イベントに法人として模擬店を出し、地域に根差した活動を行いました。

法人事務局、各課が実施した事業について以下に報告します。

1 事務局

総合目標

- ・全事業が安定的に運営できるよう法人全体の課題解決に取り組めます。

重点目標及び課題	具体的取組み
① 事業安定化	① 各事業の稼働率向上に努めました。課題であった特養の稼働率は4月の67.4%から3月には95.9%まで上昇し、年度全体では84.4%まで回復しました。 ② 感染症対策を継続により感染症の拡大を防ぐことができました。ご家族の面会の条件緩和について検討を行い、令和8年5月より感染前の面会に近い形での実施を開始しています。
② 職員配置	① 職員採用に力を入れました。8月より特定技能実習生4名の採用を実施しました。 ② 職員とのコミュニケーションを密にし、各事業での職員適正配置に努めました。

2 管理課

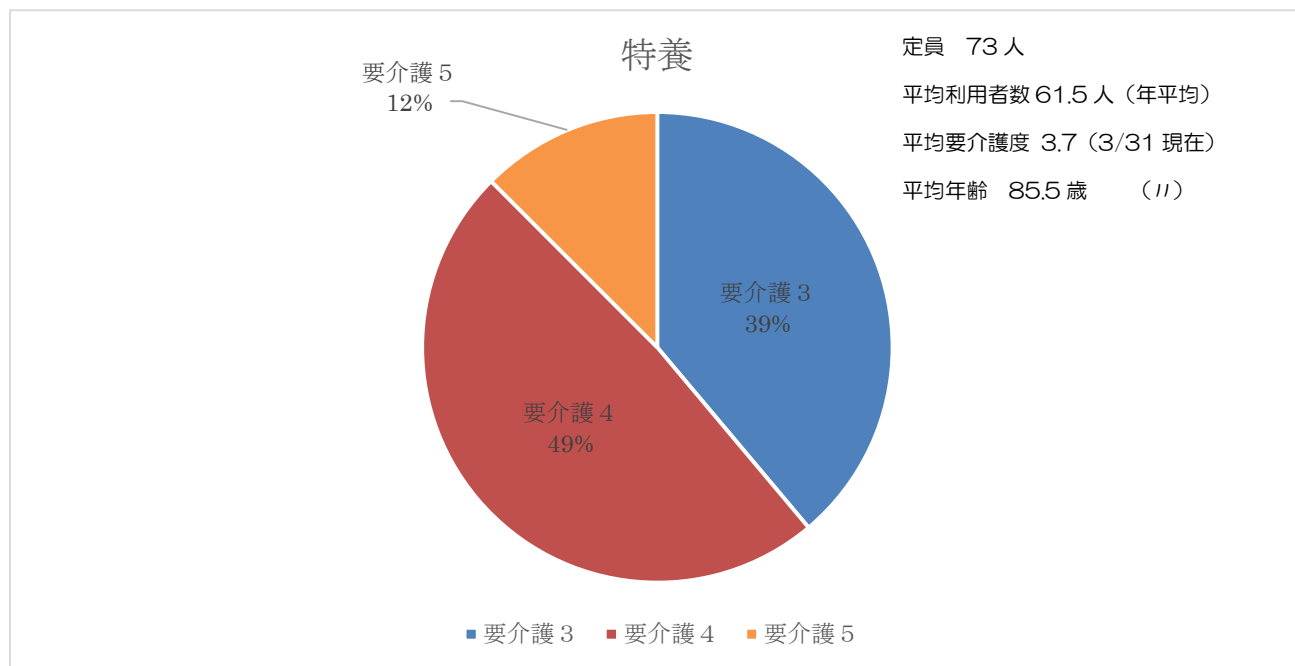
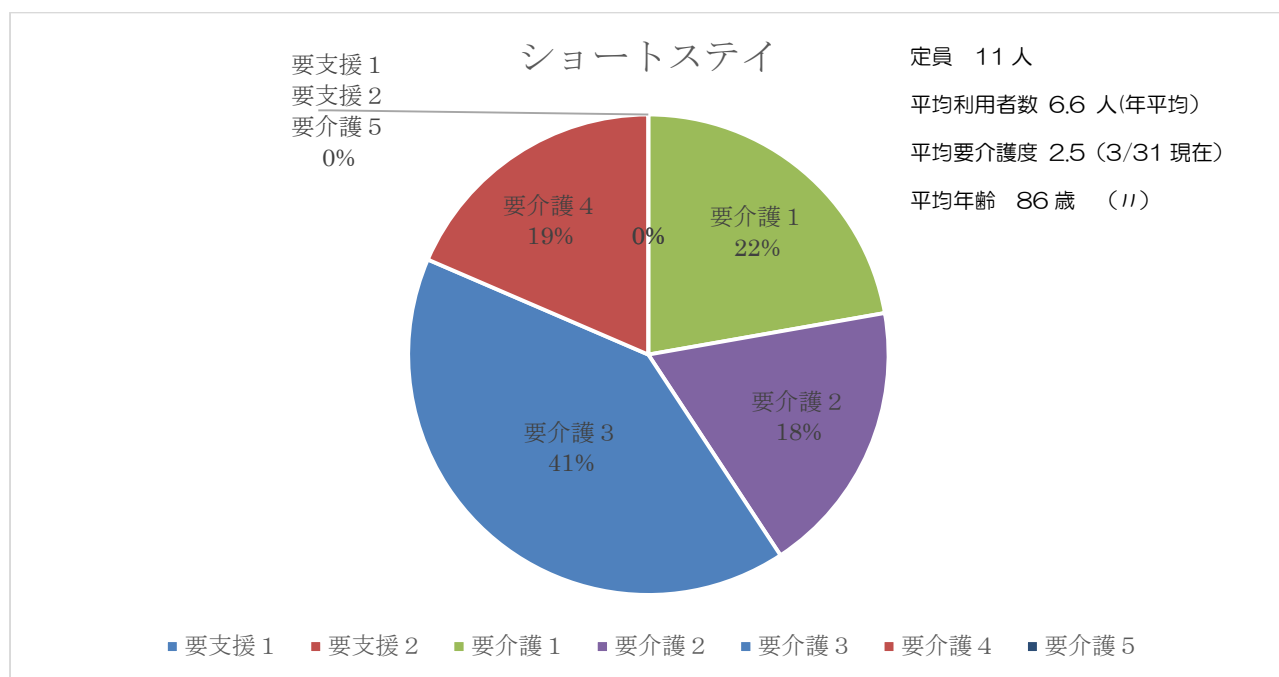
総合目標及び課題

- ・職員が安心して働けるような職場環境を整備します。

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 人材採用	① 人材の育成に努め、職員が安心して働ける環境の整備に努めました。 ② 特定技能実習生の受け入れ、生活面のフォローに努めました。 ③ 復職支援（アルムナイ）制度を確立し、3名の採用することが出来ました。
(2) 歳費見直し	① 歳費の再確認を行い、見直しを随時行いました。
(3) 業務安定化	① 令和7年9月28日に南畑5町会との合同防災訓練を実施しました。 富士見市職員から「令和6年能登半島地震の教訓」の講義を受けました。



2 生活課



総合目標及び課題

・職員一人一人が「むさしので働きたい」と思って頂ける様な特養を作り、人材の定着を目指します。

特別養護老人ホームむさしの

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 人材の育成及び	① 定期的に施設内での勉強会は行えませんでした、オンラインでの法定研修を

定着	導入し、全ての職員が受講できる方法へ変更しました。																																									
	② 介護職員が無理なく働ける様、各フロア会議及びリーダー会議にて見直しを行いました。見直し後も各職員の意見を参考に再検討行いました。																																									
	③ 各職員は各フロアリーダーへ、リーダーから主任、課長へと、相談や話しをしやすい組織図を構築しました。																																									
	④ P l a n（計画）→D o（実行）は実行できていますが、その後のC h e c k（測定・評価）A c t i o n（対策、改善）については習慣づけが課題として残りました。																																									
(2) 多職種が共同してケアに当たれるようにする	① 新たに会議等を設ける事はせず、既存の会議(リーダー会議、フロア会議)へ多職種が参加し意見交換を行いました。																																									
(3) 生活の質の向上・生存から生活へ	① 虐待防止に向け、オンライン研修は実施しましたが、対面方式の研修は行えませんでした。令和8年度4月から実施を開始しました。 虐待防止委員会の運営を見直し、委員長主導から管理者主導での運営に見直し、多職種で話し合いを行いました。																																									
	② 多職種がそれぞれの観点から意見を出し合い、検討を行った事によって、その人にとってより良い生活を模索出来ました。																																									
(4) BCP（業務継続計画）の実施	① 感染症に係る業務継続計画の研修と訓練を実施しました。																																									
	② 災害に係る業務継続計画の研修と訓練を実施しました。																																									
(5) 年間諸行事	<table><tr><th>実施月</th><th>予定行事</th><th>実施日</th></tr><tr><td>4 月</td><td>職員勉強会</td><td>実施出来ず。</td></tr><tr><td>5 月</td><td>菖蒲湯</td><td>5 月第 2 週</td></tr><tr><td>6 月</td><td>職員勉強会</td><td>実施出来ず。</td></tr><tr><td>7 月</td><td>七夕行事</td><td>7 月 7 日</td></tr><tr><td>8 月</td><td>職員勉強会</td><td>実施出来ず。</td></tr><tr><td></td><td>スイカ割</td><td>8 月 8 日</td></tr><tr><td>9 月</td><td>長寿を祝う会</td><td>9 月 15 日</td></tr><tr><td>10 月</td><td>秋祭り（状況により）</td><td>11 月 13・14 日</td></tr><tr><td></td><td>外出行事(びん沼自然公園、カフェ)</td><td>10 月 12 日</td></tr><tr><td>11 月</td><td>職員勉強会</td><td>実施出来ず。</td></tr><tr><td>12 月</td><td>もちつき行事</td><td>12 月 12 日</td></tr><tr><td>12 月</td><td>冬至</td><td>12 月第 4 週</td></tr></table>			実施月	予定行事	実施日	4 月	職員勉強会	実施出来ず。	5 月	菖蒲湯	5 月第 2 週	6 月	職員勉強会	実施出来ず。	7 月	七夕行事	7 月 7 日	8 月	職員勉強会	実施出来ず。		スイカ割	8 月 8 日	9 月	長寿を祝う会	9 月 15 日	10 月	秋祭り（状況により）	11 月 13・14 日		外出行事(びん沼自然公園、カフェ)	10 月 12 日	11 月	職員勉強会	実施出来ず。	12 月	もちつき行事	12 月 12 日	12 月	冬至	12 月第 4 週
実施月	予定行事	実施日																																								
4 月	職員勉強会	実施出来ず。																																								
5 月	菖蒲湯	5 月第 2 週																																								
6 月	職員勉強会	実施出来ず。																																								
7 月	七夕行事	7 月 7 日																																								
8 月	職員勉強会	実施出来ず。																																								
	スイカ割	8 月 8 日																																								
9 月	長寿を祝う会	9 月 15 日																																								
10 月	秋祭り（状況により）	11 月 13・14 日																																								
	外出行事(びん沼自然公園、カフェ)	10 月 12 日																																								
11 月	職員勉強会	実施出来ず。																																								
12 月	もちつき行事	12 月 12 日																																								
12 月	冬至	12 月第 4 週																																								

(6) 入所者確保・稼働率維持・向上に向けた取組み		クリスマス会	12月24・25日
	1月	新年会（家族参加） →状況により入居者のみ	1月15日 入居者のみ。
	2月	節分行事	実施出来ず。
	3月	お花見行事	3月21～25日
	<p>① 新規入所申込者の方の相談には重要事項説明書などを提示し、丁寧に施設生活の内容を説明と対応できませんでした。</p> <p>② 入所申込みをされた方への継続的な状況確認を行い、スムーズな入所に繋がりました。</p> <p>③ 12月より定員73名に対して70名から71名入所にて推移しており、ほぼ満床に近い状態を維持出来ました。</p> <p>人員配置については、介護職員の退職等に伴い充足にまでは至っていません。</p> <p>④ 年間を通して短期入所平均稼働率54.5%でした。</p> <p>⑤ 入所検討委員会の月1回の実施行っています。3月段階での待機者は2名となりました。</p>		





・生計困難者に対する相談支援事業

総合目標及び課題

・社会福祉法人として目に見える形で公益活動を実践するため、地域の援護を必要とする方に訪問相談等を行い、必要なサービスに繋ぐことをします。そして、生活保護等での既存制度では対応できない方で、経済的困窮により医療や介護サービスの利用が霜害されている場合、その費用等の全部または一部を支援する経済的援助を行います。

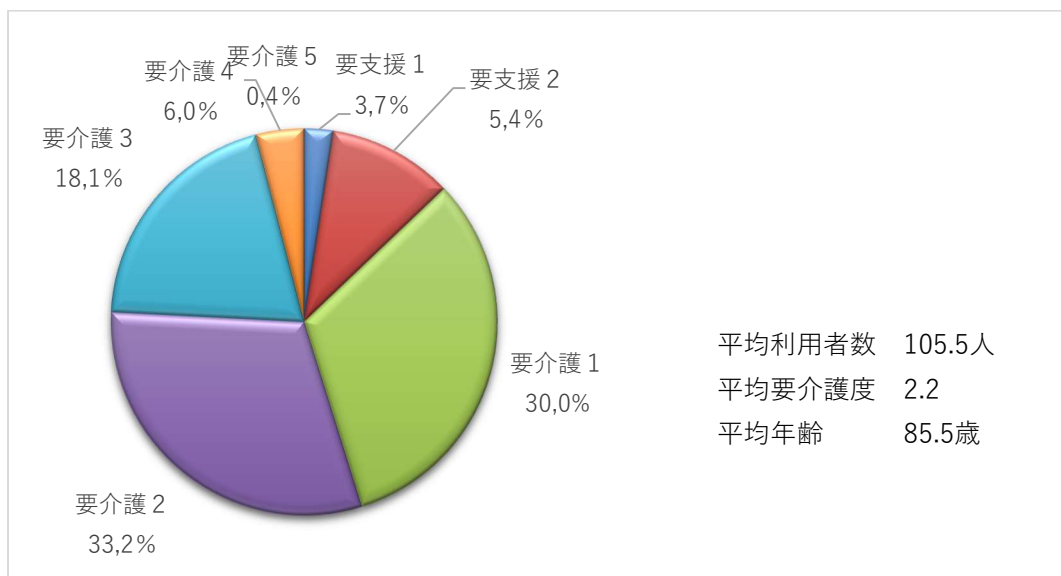
重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 担当相談員の配置並びに相談活動	事業休止中
(2) 援助活動	
(3) 研修会の参加	

3 地域課

総合目標及び課題

・地域で生活をする高齢者が在宅生活を続けるために必要とされる役割・機能を果たします。

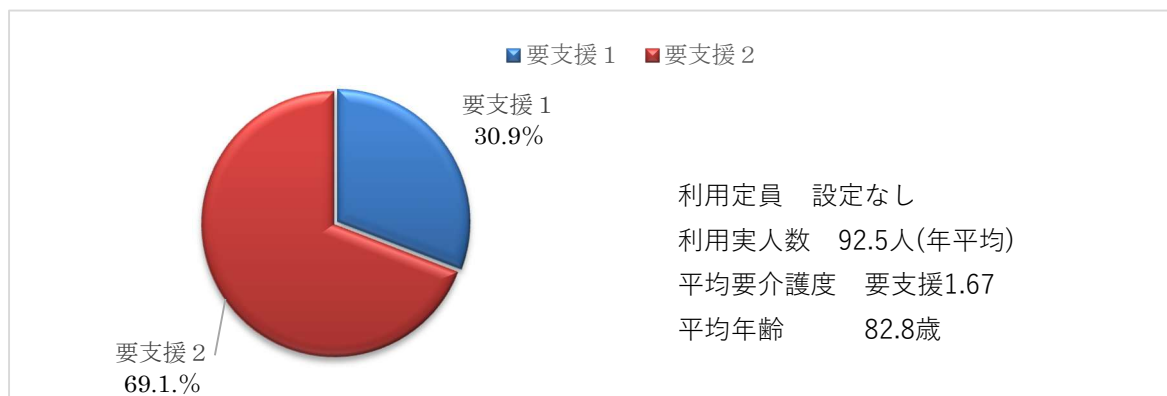
居宅介護支援事業（むさしの）



重点目標及び課題	具体的取組み
(1) ケアマネジメント	<p>① 利用者、家族に理解を得ながら支援を進めました。今後も引き続き、利用者の尊厳を優先とした支援の向上に努めていきます。</p> <p>② 職員の経験や知識の整理と共有を進め、業務の標準化に取り組みました。一方</p>

	で、個別性の高い業務は個々での判断が多く、課題が残りました。
(2)働きやすい環境	① 職員間のコミュニケーションを意識し、意見交換や情報共有の機会を設けることで、働きやすい環境づくりを進めました。 ② ケアプランデータ連携やインターネット FAX を活用したことで業務負担の軽減や情報共有として一定の成果が見られました。 ③ 業務状況や支援内容の共有が図られ、職員間の連携強化につながりました。
(3)プラン作成率維持・向上に向けた取り組み	① 年間のケアプラン作成率は（要介護と要支援の平均）は 90.4%となり、目標を達成することが出来ました。新規 40 名を受け入れ、年間の要介護請求合計は 1268 件となり、前年より 80 件増加となりました。

地域包括支援センター（むさしの）



重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 総合的な相談支援	① 電話相談が月の平均で 100 件、訪問は約 40 件となっており、迅速に対応するほか、普段の講座や地域行事の中で接する方々に気楽に声をかけてもらえるよう心掛け、周知活動を行いました。
(2) 権利擁護、虐待の早期発見・防止	① 介護保険における対応のみではなく、ケースによっては重層的整備体制支援事業、後見制度への案内・対応を行いました。
(3) 介護支援専門員への支援	① 重層的支援体制整備事業への移行事案こそなかったものの、ケアマネジャーから月平均 5 件（最多月 12 件）の相談に対応しました。引き続き、関係機関が気兼ねなく相談できる体制を維持し、連携強化に努めます。
(4) 介護予防ケアマネジメント	① はつらつ教室への繋ぎの他、必要に応じてリハビリ職との同行訪問等を行い、適切な目標設定に繋がるようケアマネジメントを実施しました。 ② 実態把握については月の平均が 20 件に届きませんでした。予防プランにつ

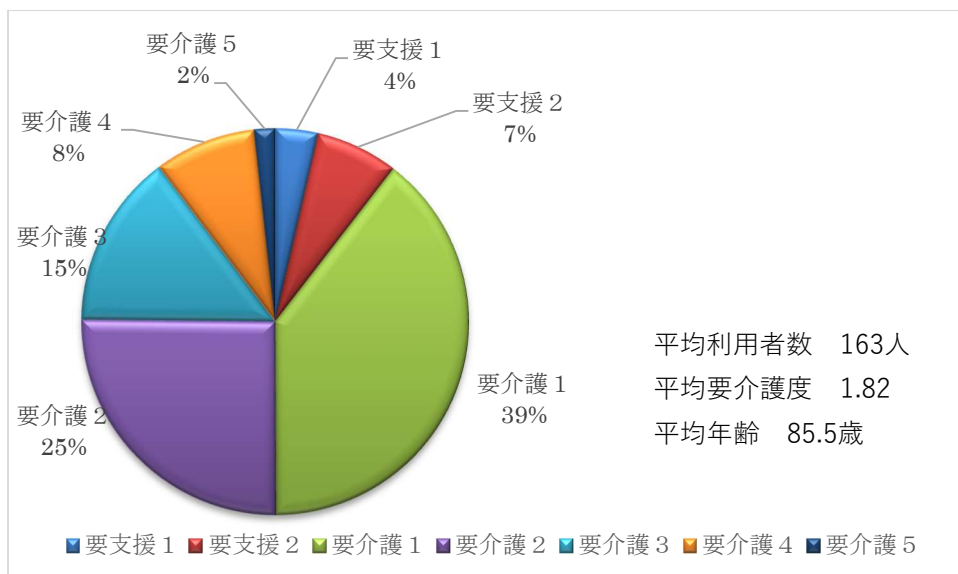
(5) 医療・介護連携	<p>いては 42～50 件を推移し目標を達成しました。</p> <p>① 東入間医師会や医療ソーシャルワーカーと、必要時に即座に連絡・情報共有が行える体制を維持できました。この連携基盤を活かし、個別の事案に対しても迅速で具体的な支援へと繋がります。</p>
(6) その他	<p>① 地域ケア会議</p> <p>地域ケア会議は個別、圏域ともに年 3 回開催しました。会議を通じて、フレイル予防といった身近な話題から、老後を踏まえたペット問題の話など様々な議論が出ており、地域の課題を共有しました。</p> <p>② 認知症地域支援推進</p> <p>武田が新しく認知症地域支援推進委員のメンバーとして加わり、「新しい認知症観」の普及を目指し、富士見市立図書館で推進委員の方々と富士見市の五包括で合同オレンジカフェを開催しました。</p> <p>③ 生活支援体制整備事業</p> <p>南畑を中心に継続しており、今後はルートの見直し・別地域も検討し南畑地域会議へ参加しました。</p> <p>④ 家族介護者(ケアラー・ヤングケアラー)支援</p> <p>介護者教室では健康増進センターと連携し、介護者に対する支援と知識の伝達に努めました。</p> <p>⑤ BCP（業務継続計画）</p> <p>地域ケア圏域会議に加え、民生委員との日常的な情報共有や地域の防災活動への参画を通じ、顔の見える関係づくりを推進します。会議の場に留まらず、現場での交流を重ねることで、災害時における具体的な相互支援体制の具体化を目指します。</p>

配食サービス

重点目標及び課題	具体的取組み
	休止中



居宅介護支援事業（ひだまり）



重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 利用者の自己決定を尊重したケアプランの作成	① ご利用者の尊厳ある生活が維持できるようにご本人、ご家族の意向に沿ったケアプランを年間で要介護387件、要支援30件作成しました。 ② ご本人、ご家族より丁寧に傾聴し複数プランを提案することで自己決定できるよう努めました。 ③ 週1回のカンファレンスを行い担当者不在時でも迅速・丁寧に対応できるよう事業所間で情報共有を行いました。
(2) 職員がハツラツと働ける職場環境を作る	① ヤングケアラー、難病疾患者支援、看取り支援、精神疾患者支援、家族支援など目標に合わせ研修や勉強会へ参加し、個々の知識、専門性を高め介護支援専門員の資質向上に努めました。 ② 事業所全体のレベルアップのため医療特化型施設やお泊りデイの見学勉強会を行いました。 ③ 知識の共有、事業所全体のレベルアップを目的にふじさくら居宅介護支援事業所と合同で事例検討会を行いました。
(3) 高齢者の地域生活を支える拠点をを目指す	① 心身の状況に応じて適切なサービスを利用できるよう地域包括支援センターやサービス事業所など多職種連携に努め積極的に受け入れを行いました。 ② 入退院時など体調面に不安な時でも安心して過ごせるよう地域病院と医療連携を速やかに行いました。 ③ 法人内部部門との連携を強化し困難ケースや緊急性のあるケースへの迅速な対応を行いました。 ④ 感染症・災害時に係る業務継続計画に沿った研修及び訓練を実施しました。 ⑤ 研修・委員会を開催し虐待・ハラスメントを防止しました。

(4) 作成率維持・向上 に向けた取組み	① 上記取組みを実施し平均 95.2%稼働しました。
-------------------------	----------------------------

地域包括支援センター（ひだまり）

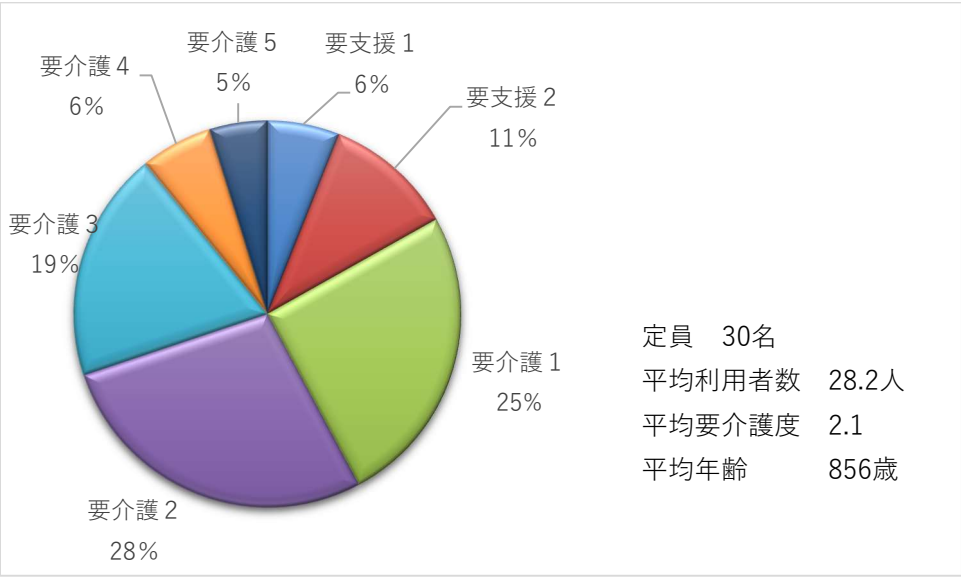
重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 総合的な相談支援	① 高齢者の方々が住み慣れた地域で自分らしく生活できるよう、市役所に代わる地域の身近な相談窓口として機能できるように努めました。 ② 相談窓口対応の間口拡大のため土曜日も開所しました。
(2) 権利擁護、虐待の早期発見の・防止	① 高齢者の権利擁護について速やかに対応しました。また権利の侵害について地域への情報提供を行いました。 ② 実態把握により問題の早期発見に努め、権利の侵害を未然に防ぐ対応を心掛けました。
(3) ケアマネジャーへの支援	① 市内の地域包括支援センターと協力し、ケアマネサロン「クラージュ」を開催しました。また、ケアマネジャー向けの研修会を実施しました。 ② ケアマネジャーからの相談に対し、協力体制を築きました。 ③ あらゆるハラスメントに対し、厳正な対応を講じました。
(4) 介護予防ケアマネジメント	① フォーマルなサービス、インフォーマルな社会資源など、なような提案をし、利用者の自己決定を尊重しました。 ② 介護予防ケアマネジメントは自立支援を目指し、介護度の重度化を防ぎました。 ③ 上記取組みを実施し、実態把握月平均 30 件以上、予防プラン(自プラン)月平均 30 件を目指しましたが、予防プランへの考え方が大きく変わり、介護保険制度を利用しない介護予防事業の活用を進めることになり、結果として予防プランの件数が減ることになりました。
(5) 医療・介護連携	① 二市一町のネットワーク研修への積極的に参加・協力しました。 ② 介護申請、入退院支援、ケアマネジャーの紹介など医療と介護の連携が取れるように協力関係を築きました。
(6) BCP（業務継続計画）	① 感染症・災害時に係る業務継続計画に沿った研修及び訓練を実施しました。
(7) その他	① 地域ケア会議 ・利用者の自立支援に資するケアマネジメントが適切に実施できるよう、介護予防支援地域ケア会議、地域ケア個別会議を行いました。

	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での課題把握やネットワーク作りのために地域ケア圏域会議に取り組みました。
②	<p>認知症地域支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症地域支援推進員としての活動を通じ、認知症を患っても安心して生活できる地域作りに取り組みました。 ・小中学校からの認知症サポーター養成講座の要望を受け入れて開催しました。 ・地域に開かれた、認知症カフェを継続して開催しました。
③	<p>生活支援体制整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市や社会福祉協議会、各地域にある地区社協・町づくり協議会と連携しました。
④	<p>家族介護者支援（ケアラー支援）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護者教室を開催し、介護者や介護に関心のある地域の方が、介護への理解を深め、また介護負担の軽減につながるように支援しました。 ・様々な立場の家族介護者が社会的孤立しないよう相談・支援を行いました。
⑤	<p>地域行事への参加・協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の中での周知を高め、関係を深めました。 ・また、法人職員として地域に根差した施設であるための活動に協力しました。 ・公民館主催の事業に積極的に参加しました。
⑥	<p>良好なコミュニケーションを心がけ、職員がハツラツと働ける環境となるようひとり日理が心がけました。</p>

4 デイサービス課

総合目標及び課題

・地域で生活をする高齢者が在宅生活を続けるために必要とされる役割・機能を果たします。



重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 介護	① 「目配り」「気配り」「心配り」を意識したサービスを提供し、利用者の顧客

	<p>満足度を上げることが出来ました。時に耳が痛くなるような意見をいただくこともありましたが、真摯かつ謙虚に受け止め、ブラッシュアップしてきました。その結果、「また来たい」、「利用日数を増やしたい」との意見をいただき、安定した集客を行うことが出来ました。</p> <p>② 職員間のコミュニケーションを積極的に取り、職員が高い意識を持ちながら、意見を言いやすい、安心して働ける環境作りを行いました。</p> <p>③ 1年間趣向を凝らした行事を毎月と調理レクを行い、好評をいただきました。</p>
(2) 看護	<p>① 年間を通して利用者の体調変化に注意しました。日頃から脱水予防として、興味をそそるような月替わりの飲み物を提供するなど、利用時に水分を多めに摂っていただけるように取り組みました。</p> <p>来苑後に発熱や体調不良が見られた場合は速やかに家族と連絡を取り、早退の対応を行いました。また、急変者の救急搬送の対応も速やかに行うことが出来ました。</p> <p>感染症予防として、マスク着用や消毒、換気も継続して行いました。</p>
(3) リハビリ	<p>① 押し花や園芸、近隣の農家への野菜購入など利用者の方々が意欲を持って取り組んでいただけるように努めました。機能訓練もボールを使ったものを5名でチーム競技のように行い、楽しみながら体を動かせるようにし、多職種と連携して行うことが出来ました。</p>
(4) 相談	<p>① 「孫の手」のように辛いところに手が届くような家族・利用者との繋がりを意識して行いました。言葉が足りずに誤解を招いてしまう場面もありましたが、丁寧に担当し、大きな苦情になるような事案は発生せずに行うことが出来ました。</p>
(5) 稼働率維持・向上に向けた取り組み	<p>① 上記取り組みを実施し目標稼働率84%を大きく上回り89.6%となり年間目標を達成できました。</p> <p>② 広報用の写真を一新し、各々の事業所へ営業活動に回り、デイサービスむさしの職員として認識してもらえるように専念しました。</p>





令和7年度デイサービス年間行事		
月	内 容	日 程
4月	車中花見行事	4/7(月)～12(土)
5月	ビンゴゲーム大会行事	27(火)28(水)29(木)
6月	運動会行事	19(木)20(金)21(土)
7月	パサール三芳日帰り旅行行事	7/5土8火16水25金29火 8/1金6水21木22金26火 9/2水29月10/13火2木
8月	夏祭り(海の家かき氷・変わらぬ子)行事	27(水)28(木)29(金)
9月	長寿を祝う会	15(月)16(火)17(水)
10月	ウニクス南古谷日帰り旅行行事	10/6水10金14火16木20月 22木24金28火11/6金8 13木12金23火30金
11月	焼き芋行事	21(金)22(土)24(月)
12月	餅つき クリスマス行事	13(土) 23(火)24(水)25(木)
1月	新年演芸大会行事	26(月)27(火)28(水)
2月	鍋行事	20(金)21(土)24(火)
3月	ビュッフェ行事	21(土)23(月)24(火)

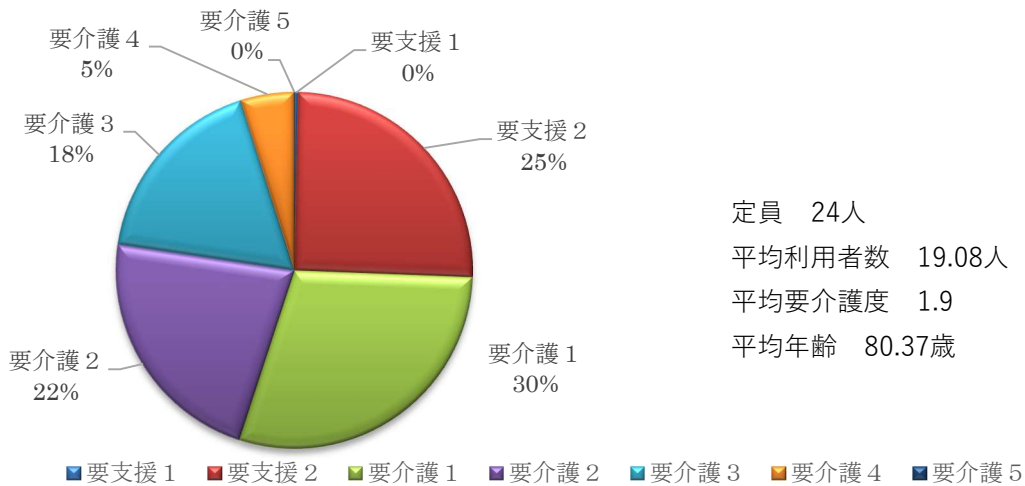
令和7年度デイサービス年間調理レク		
月	内 容	日 程
4月	なし	
5月	じゃがバター	5/31(土)
6月	クレープ	6/18(木)
7月	トマトゼリー	7/18(金)
8月	トマトとアボカドとクリームチーズのサラダ	8/26(火)
9月	茄子と冷奴	9/26(火)
10月	ジャガイモのアッシュェバルマンティエ	10/27(月)
11月	大学芋	11/28(金)
12月	クリスマススムース	12/20(土)
1月	イチゴスムース	1/30(金)
2月	恵方巻(キンパ)/ナナイモバー	2/4(水)/2/28(土)
3月	イチゴスムージー	3/30(月)

5 地域支援課

総合目標及び課題

- ・人材の育成及び定着
- ・BCP（業務継続計画）に沿った研修・訓練の実施
- ・法人内連携の強化として法人としてのサービス向上を図る。

◎小規模多機能型居宅介護



重点目標及び課題	具体的取組み																														
(1) サービス	① 通い：アットホームな環境の中で、季節の行事や誕生会、おやつ作り、作品作り等を利用者様と共に楽しみ、交流や外出ができるように努めました。																														
	<table><tr><th>実施月</th><th>実施内容</th><th>詳細</th></tr><tr><td>4月</td><td>・お花見 ・家庭菜園</td><td>・難波田城公園に散策、お花見（桜） ・キュウリ、トマト、なす、落花生</td></tr><tr><td>5月</td><td>・お楽しみ会</td><td>・ホットケーキ作り</td></tr><tr><td>6月</td><td>・居酒屋行事、誕生会</td><td>・焼き鳥、豚汁、おにぎり、枝豆・出し物 ・野菜収穫と調理・実食</td></tr><tr><td>7月</td><td>・純喫茶、誕生会 ・七夕飾り作り</td><td>・昭和の懐かしい物映像や展示、プリンアラモード作り、出し物</td></tr><tr><td>8月</td><td>・外食行事、誕生会</td><td>・暑気払い とんでん(三芳町)</td></tr><tr><td>9月</td><td>・ひだまりホームパーティー、誕生会</td><td>・(家族参加) デリバリー＆手作りちらし寿司</td></tr><tr><td>10月</td><td>・サンマ行事、誕生会</td><td>・焼きサンマ、お芋ご飯、豚汁</td></tr><tr><td>11月</td><td>・運動会行事（3日間） ・水谷文化祭</td><td>・曜日対抗（輪投げ、的当て、玉入れ） ・もつ煮販売</td></tr><tr><td>12月</td><td>・餅つき ・クリスマス会、誕生会</td><td>・(家族参加)（ボランティア協力あり） ・ハンドベル、歌、ゲーム、プレゼント交換</td></tr></table>	実施月	実施内容	詳細	4月	・お花見 ・家庭菜園	・難波田城公園に散策、お花見（桜） ・キュウリ、トマト、なす、落花生	5月	・お楽しみ会	・ホットケーキ作り	6月	・居酒屋行事、誕生会	・焼き鳥、豚汁、おにぎり、枝豆・出し物 ・野菜収穫と調理・実食	7月	・純喫茶、誕生会 ・七夕飾り作り	・昭和の懐かしい物映像や展示、プリンアラモード作り、出し物	8月	・外食行事、誕生会	・暑気払い とんでん(三芳町)	9月	・ひだまりホームパーティー、誕生会	・(家族参加) デリバリー＆手作りちらし寿司	10月	・サンマ行事、誕生会	・焼きサンマ、お芋ご飯、豚汁	11月	・運動会行事（3日間） ・水谷文化祭	・曜日対抗（輪投げ、的当て、玉入れ） ・もつ煮販売	12月	・餅つき ・クリスマス会、誕生会	・(家族参加)（ボランティア協力あり） ・ハンドベル、歌、ゲーム、プレゼント交換
	実施月	実施内容	詳細																												
	4月	・お花見 ・家庭菜園	・難波田城公園に散策、お花見（桜） ・キュウリ、トマト、なす、落花生																												
	5月	・お楽しみ会	・ホットケーキ作り																												
	6月	・居酒屋行事、誕生会	・焼き鳥、豚汁、おにぎり、枝豆・出し物 ・野菜収穫と調理・実食																												
	7月	・純喫茶、誕生会 ・七夕飾り作り	・昭和の懐かしい物映像や展示、プリンアラモード作り、出し物																												
	8月	・外食行事、誕生会	・暑気払い とんでん(三芳町)																												
	9月	・ひだまりホームパーティー、誕生会	・(家族参加) デリバリー＆手作りちらし寿司																												
	10月	・サンマ行事、誕生会	・焼きサンマ、お芋ご飯、豚汁																												
	11月	・運動会行事（3日間） ・水谷文化祭	・曜日対抗（輪投げ、的当て、玉入れ） ・もつ煮販売																												
	12月	・餅つき ・クリスマス会、誕生会	・(家族参加)（ボランティア協力あり） ・ハンドベル、歌、ゲーム、プレゼント交換																												

	1 月	・初詣、誕生会 ・新年会（家族参加） ・消防訓練	・フラダンス、ビンゴ ・避難訓練、水消火器（消防署 2 名）
	2 月	・おでん行事（2 日間） ・誕生会	・おでん（大根・玉子・はんぺん・なると・ちくわ・ウインナー・厚揚げ等）、茶飯、浅漬け
	3 月	・ひなまつり、誕生会	・桜餅作り
(2) ケアプラン	<p>② 訪問：利用者様一人ひとりの体調や暮らし方に合わせて、体調確認や服薬管理、買物同行（代行）、環境整備等を提供し、家族の介護負担軽減にも努めました。</p> <p>③ 泊り：介護者のレスパイト目的にて毎週月曜日に定期利用を勧めましたが、入所等の為、泊り利用者が減り、隔週の利用(月 2 回)にとどまりました。 希望や体調の変化に応じ、臨時利用の声かけを行っています。</p>		
	<p>① 一人ひとりの望む暮らしに合わせたケアプランを作成し、気持ちに寄り添い、かつ柔軟なサービスを提供しました。</p> <p>② 作成したケアプランの支援内容や心身状況を職員と共有し、より良いケアへ繋げられるように努めましたが、職員それぞれの捉え方に違いがあり、継続が十分にできないことがありました。ケアの質を向上させていく必要があります。</p>		
(3) 人材育成・定着	<p>① 産休や病欠に伴い人員が十分でない時期がありましたが、職員同士の連携で対応することができました。</p> <p>② 小規模多機能に異動した職員に対して、O J Tを実施しました。また、中堅職員に対して、法人本体の通所介護での交換研修を実施しました。</p> <p>③ ひだまりの庭で月 1 回の研修（BCP・救命救急対応・虐待等）を行うとともに、ジョブメドレー研修を各自で受講終了しています。</p>		
(4) 稼働率	<p>① 法人内包括、居宅との連携があり、登録者 19～21 名（平均 19.08 名）・稼働率 80.1%となりました。今後、営業活動を実施していく必要があります。</p>		
(5) BCP（業務継続計画）の実施	<p>① 感染症・災害時に係る業務継続計画に沿った研修及び訓練を実施しました。また、来年度に向けて職員主体で、業務継続計画の見直し修正ができ、感染災害時の業務継続ができるように B C P 委員会を立ち上げました。</p>		
(6) 虐待・ハラスメント防止	<p>① 研修・委員会を開催し、虐待・ハラスメントの予防に努めました。</p>		



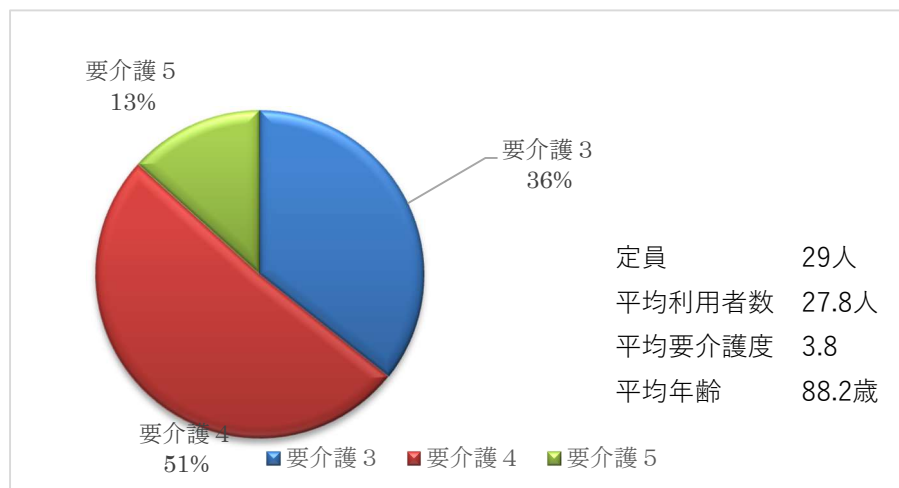
《ひだまりホームパーティー》



《とくし丸でお買い物》

◎地域密着型特別養護老人ホーム

介護



重点目標及び課題	具体的取組み
(1) ユニットケア	① 毎月リーダー会議内でユニットケアを進める上での課題について、検討・話し合いを行いました。
(2) ICT 及び IOT 化の推進	① みまもりセンサーを活用することで転倒・転落を未然に防ぐことができました。また、モニター上の波形を確認することで眠りの深さなど入眠状況を調べることができました。 ② タブレット使用方法について周知している段階です。使用方法周知後に活用することで業務効率を目指すことが今後の課題となります。
(3) BCP（業務継続計画）	① 感染症に係る業務継続計画に沿った研修及び訓練を実施しました。今後は、委員会内で計画の見直しを行い、現在の施設に合わせた計画の作成が課題となります。 ② 災害に係る業務継続計画に沿った研修及び訓練を実施しました。今後は、委員会内で計画の見直しを行い、現在の施設に合わせた計画の

(4) サービスを提供する職員がハツラツと働ける環境を作る

(5) 年間の行事

作成が課題となります。

① 今年度は委員長の提供は行えませんでした。来年以降への課題となります。

② 勤務時間内で会議等の開催をするよう調整したことにより、以前より超勤時間が全体的に減りました。

③ 希望に沿って試験日付近で休みを提供することが出来ました。

④ ユニット単位での会議を設け、職員同士でのコミュニケーションの場を設けることが出来ました。

① 以下の行事を行いました。

・新型コロナウイルス感染症等に留意しながら、今年度よりご家族参加の行事も実施致しました。

・季節を感じられるものを中心とし、ユニットごとに行事を行いました。

実施月	内容（実施予定）	実施
4 月	お花見	桜の開花時期に応じて個別に対応し、数名のみ
5 月	菖蒲湯 ホームパーティー（家族参加） →状況により入居者のみ	5/19 こすもすユニット パンケーキ作り 5/31 ひまわりユニット プリン作り
6 月	ユニット行事	6/9 こすもすユニット 飲茶行事
7 月	流しそうめん・かき氷 地区夏まつり →状況により中止	7/18 こすもすユニット 流しそうめん行事 7/25 ひまわりユニット 花火行事
8 月	花火もしくは夏まつり	開催無し
9 月	地区敬老会 →状況により中止 ユニット行事	9/26 全体行事 ホームパーティー行事 （ご家族参加） 9/30 全体行事 百歳祝いの式典 （市長の来苑あり）
10 月	※9 月同様 地区敬老会 ユニット行事	開催なし
11 月	地域防災訓練 水谷文化祭	11/8 水谷文化祭 （もつ煮出店）

	12月	冬至（ゆず湯） 餅つき（家族参加） →状況により入居者のみ クリスマス会	12/20 全体行事 餅つき行事（ご家族参加）
	1月	新年会（家族参加） →状況により入居者のみ	1/17 全体行事 新年会行事（ご家族参加）
	2月	節分	開催なし
	3月	ひなまつり	3/31 ひまわりユニット 花見ドライブ

看護

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 入居者の体調管理	① 日頃から入居者の体調の変化に注意し、異常の早期発見と早期対応に努めました。 ② 介護職との連携を深め、情報の交換と共有を行い健康の維持、管理、異常の早期発見に努める事が出来ました。
(2) 感染対策	① 様々な感染症に対し施設内の感染対策を介護職と共に取り組みました。 ② 感染症対策マニュアルに沿って誰でも直ぐに実施できるように介護職と共に練習の機会を作りました。
(3) 嘱託医と薬剤師との連携強化と継続	① 入居者の体調の変化に対応し適宜連絡をとり、適切な医療へと繋ぐことが出来ました。 ② 適切な医療を早期に提供できるよう、嘱託医・薬剤師との連携に努めました。

リハビリ

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 個別リハビリの実施	① 週2回の個別リハビリを実施しました。 ② 入居者の歩行状態や座位姿勢、介助方法等について、介護職員と連携し、相談・助言を行いました。

相談

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 入院者の病状確認	① 退院支援が速やかにできるよう、病院の看護師や相談員またご家族と病状確認に努めました。
(2) 稼働率維持・向	① 各セクションでの取り組みを実施し本年度稼働率 96.5%となりました。

上に向けた取組み	② 入院者等で空きベッドが出た際は、空床を利用したショートステイの受入れを行いました。年間延べ8名54日の実績となります。 ③ 市内居宅支援事業所や近隣の医療機関等に対し入所案内を行いました。
(3) 高齢者の地域生活を支える拠点を旨す	① 法人内部部門との連携を強化し困難ケースや緊急性のある方の受入れ（ショートステイ）を迅速に対応しました。



《100 歳祝いの式典 市長来苑》



《ひだまり新年会》

6 栄養課

総合目標及び課題

- ・ 安心安全、おいしい食事を提供し、利用者の食生活を支えます。
- ・ 食を通じて利用者の笑顔を実現します。
- ・ 従業員がハツラツと働ける環境整備に努めます

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 食事の品質向上	① 安心安全な食事提供を行うため、HACCP に基づいた衛生管理を行いました。 ・ 計量や計測を怠ることなく調理業務を行いました。 ・ 食事の盛り付け時において、異物（クッキングシートの切れ端）が混入する事例がありました。目視を十分に行い、再発することが無いように努めてます。 ② 利用者の嗜好に寄り添った食事提供を行いました。 ・ 昼食時（日曜日除く）には、選択食を実施し、喫食者に主菜を選んで召し上がっていただきました。 ・ 個人の嗜好に合わせた食事の内容（嗜好やアレルギー等による喫食の制限）に都度対応しました。
(2) 非常時の食事提供について（業務継続計画）	① 災害発生等の非常時における食事提供の体制作りに努めました。 ② 施設内の感染症が流行した際の食事提供の体制作りに努めました。 ③ 備蓄食品（ α 化米、缶詰類、長期保存飲用水）を確保しました。

	<ul style="list-style-type: none"> ・飲用水（7年保存水：賞味期限 2033 年 8 月）（2L*6 本*150 箱） ・アルファ米（炊き出しセット：賞味期限 2031 年 4 月）（50 食*20 箱） ・えいようかん（5 年保存：賞味期限 2031 年 5 月）（60g*5 個*80 パック） ・さんま蒲焼缶（通常品：賞味期限 2028 年 10 月）（T2K 缶*6 個） ・さば味噌煮缶（通常品：賞味期限 2028 年 11 月）（T2K 缶*6 個） ・やきとり缶（通常品：賞味期限 2028 年 9 月）（T2K 缶*12 個）
(3) 食べる喜びに係る取り組み	<p>① 栄養バランス、嗜好性、食べ易さに配慮した食事を提供し、利用者の栄養状態が良好に保たれるように努めました。</p> <p>② 多職種間で連携を取り、利用者が安心して人生の最期まで口から食べられるように努めました。</p>
(4) 仕事に意欲的に取り組める環境	<p>① 従業員同士の円滑なコミュニケーションができるよう努めました。</p> <p>② ハラスメントに対しては厳正に対応しました。</p>

4/8（火）	春の行事食といちご大福 （三色丼、梅ポテサラダ、筍金平）
4/24（木）	ロコモコ丼と明太ポテトグラタン他
5/6（火）	端午の節句行事食 （ちまき風ご飯、ブリのりゅうきゅう、花野菜サラダ、フルーツポンチ）
5/22（木）	ビビンバ丼ともやしのナムル他
6/5（木）	鶏天丼とネギトロ御膳
6/19～30	ユニットおやつ行事（クレープ）
7/7（月）	七夕行事食（天の川ご飯・他）
7/31（木）	土用の丑の日（うなとろ丼・他）
8/5（火）	夏祭り風弁当（唐揚げ、じゃがバターこ焼き、焼きトウモロコシ風、胡瓜浅漬、すいか、炒飯）
8/28（木）	鮭の山かけ丼と天ぷら
9/4（木）	のり丼
9/15（月）	長寿の祝い膳 赤飯、刺身盛り、炊合せ、他
10/9（木）	秋の行楽弁当 （おにぎり、コロッケ、玉子焼、タコさんウインナー、他）
10/27（月）	ハロウィーン（オムライス、他）
11/4（火）	肉弁当（豚焼肉、唐揚げ、焼売、他）

11/20（木）	さかな弁当（赤魚焼、鰯照焼、白身魚と豆腐のふんわり天、他）
12/9（火）	ちらし寿司（海老天、湯豆腐、他）
12/12～14	餅つき会
12/25（木）	クリスマス行事食・おやつケーキ
1/1（木）	元旦（赤飯、おせち詰め合わせ）
1/2（金）	ねぎとろ丼
1/3（土）	すきやき風
1/15（木）	新年祝い膳 （ちらし寿司、茶わん蒸し、刺身盛り合わせ、炊き合わせ、ゆず羊羹）
2/3（火）	恵方巻風ちらし寿司、菜の花おひたし、なす田楽、けんちん汁
2/14（土）	バレンタインおやつ

2/18（水）	むさしの駅弁 （牛肉大和煮、筍、玉子焼、他）
3/3（火）	ひな祭り行事食 （たたき鮭のちらし寿司、里芋柚子餡、菜の花からしあえ）
3/18（水）	春の御膳（鮭しらすご飯、鶏のゆかりパン粉焼き、鮭の焼肉、ポテトグラタンほか）



2025.4.8 行事食のおやつ（いちご大福）



2025.12.25 クリスマスランチ



2026.1.1 おせち料理

【地域行事】

4/6（日）	菜の花フェスタ（肉うどん）
10/25（土）	富士見ふるさと祭り（お好み焼き）
11/8（土）	水谷文化祭（塩もつ煮）



2025.4.6 菜の花フェスタ



2025.10.25 富士見ふるさと祭り



2025.11.8 水谷文化祭



2025.10.25 富士見ふるさと祭り